



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工先端研究特論)

皮質脊髄路による巧緻運動の制御機構と 障害後機能回復機構

演者 伊佐 正 教授
自然科学研究機構・生理学研究所
日時 2013年9月11日(水) 18:00 ~20:00
会場 M&Dタワー11階 大学院講義室3

講演要旨

ヒトを含む霊長類での手指の巧緻運動は、大脳皮質運動野から脊髄運動ニューロンに至る直接経路の進化によるとされる。しかし霊長類においても、皮質脊髄路線維は途中の様々なレベルで多くの側枝を投射し、多様な中継ニューロンを介する間接経路を形成している。今回の講義では、最先端のウィルスベクターによる経路選択的・可逆的神経伝達遮断技術を用いて、間接経路のひとつである脊髄固有ニューロン系の機能を明らかにできたので紹介する。

多数の皆様のご来聴をお願い申し上げます。

連絡先：耳鼻咽喉科学 喜多村 健 (内線 5303)
共 催：東京医科歯科大学脳統合機能研究センター